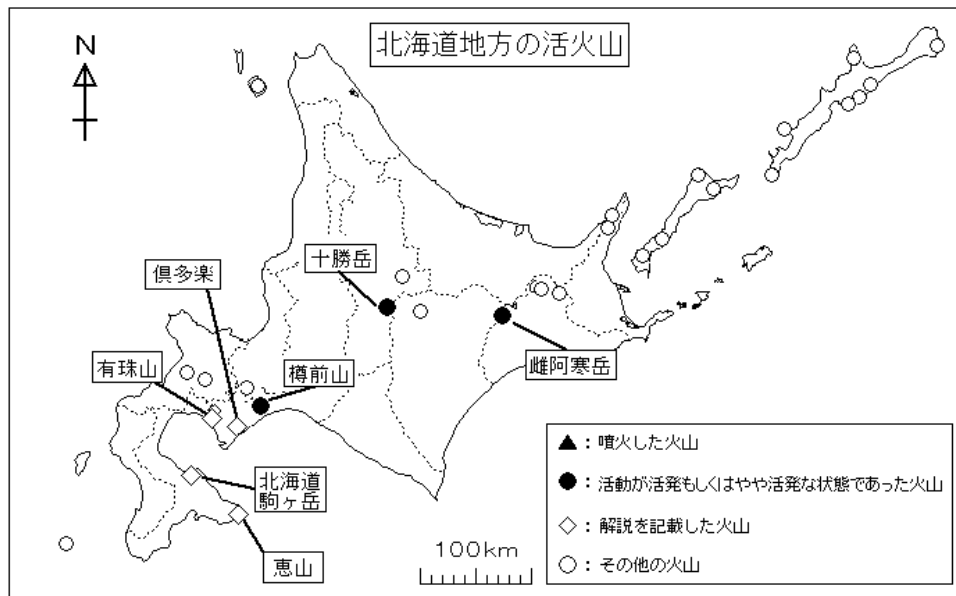


北海道地方の火山活動解説資料（平成 18 年 2 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳では2月18日以降地震が多発し、微動も発生するなど、火山活動はやや活発な状態となっています。十勝岳、樽前山では引き続きやや活発な状態が続いています。

●雌阿寒岳 [やや活発な状況]

2月18日～19日に火山性地震が多発し、振幅の小さな火山性微動も観測されました。火山活動はやや活発な状態となっています。火口近傍では注意が必要です。

札幌管区气象台では、この活動に対し火山観測情報を発表しました。雌阿寒岳で火山観測情報を発表したのは、1999年9月13日の火山観測情報（臨時現地観測の結果）以来となります。

●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。3日に振幅のやや大きな火山性微動が観測されたほか、14日にも振幅の小さな火山性微動が観測されました。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に変化はみられていないことから、これらの火口の熱的な活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態が続いています。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。